



金匱要略聞書卷二

南涯吉益先生講說

信濃 伊藤祐義忠氏筆記

肺痿肺癰欬嘔上氣病脉證治第七

○肺痿吐涎沫而不啖者其人不可渴必遺

尿小便數○必眩多涎唾甘草乾姜
湯主之若服湯已渴者屬消渴甘草
乾薑湯方 甘草 四兩 乾薑 二兩 右咬
咀以水三升煮取一升 五合去滓分溫

再服

肺脹ハ氣セマリツヨキニヨリテ濁唾涎沫ナシ氣盛ニ
ニシテ癸セサルモノハ小青竜加石膏 肺痿ト云モノハ

氣メクラスシテ伸カヌルニヨリ 涎沫胸中ニタマルナリ
生姜其州ハ氣向ヘ上リテハキツクスカラ渴スナリ乾姜其
草湯ハ氣ノ循ラサレ貞咳ハ氣メクル貞ナリタマリテアル
モノヲ貫クヨリ咳スルナリ此ハ氣ノメクラサルヨリ小便數
トナリ上ヘ氣セマリツクト眩スルナリ氣クルヘキモノガ
メクラスシテ水ノタマルヲ動スカラ眩スルナリ

○肺痿ハ氣ノ暢カキ形アリ故水タマルヨリ濁唾涎沫ハアリ
サレ氏咳喘ハナキナリセマレハ咳セリ喘足ナリ涎沫ハ舌ノ下
ヨリ生ス痰ハ舌上ヨリ出ルモノナリ氣下部へ暢テメクル
アタハガルヨリ遺尿モ小便數ニナリ涎沫ハ氣暢サ
ルヨリタマルナリ然レ氏氣行ルヘキモノカメクラサルヨリ後ニ
咳スルナリ

○欬逆上氣時時唾濁但坐不得臥皂莢

丸玉之皂莢丸方皂莢 八兩一作一挺 右一味

末之蜜丸梧子大以棗膏和湯服三丸

日三夜一服

咳嗽当ニ眠ラ卧ニ作ルカヨイ 皂莢丸ニ宜シ猪牙皂莢 湯ニ宜シ此ハ痰飲主トナル血ノメクリアヒキ一主ニカモハ 咽カクツクモノナリ 咽カラツキテ咳アラハ血多ク衰下知ルキニ

○大逆上氣咽喉不利止逆下氣者麥門

冬湯主之麥門冬湯方麥門冬 七升 外臺作二升

半夏 升 人蔞 其州 各二兩 粳米 三合

大棗 十二枚 外臺作四枚 右六味以水一斗二升煮

取六升溫服一升日三夜一服

麥門冬湯ハ上氣劇シク咽喉乾燥スルノ症アルベシ 此章マテ喘氣ハナキナリ

○肺癰喘而不得卧者葶藶大棗瀉肺湯主之葶藶大棗瀉肺湯方葶藶

彈丸大 大棗、 十二枚 右以水三升先煮

大棗、取二升去滓內葶藶煮取一升

頓服

喘スルモノ外ヨリナサシムルモノハ無汗ニテ疼痛スルモノ
ナリ麻黄杏仁ノ治スル所ナリ咳喘トナレハ半夏ノ主トシ

所ナリ此方ハ内ニテ喘鳴迫塞主名モノナリ大棗ハ血氣ノ
セマリヲ立ルモノナリサルカ故ニ不得卧ナリ

○咳而胸滿振寒脉數咽乾不渴時出濁唾

腥臭久久吐膿如米粥者為肺癰桔

梗湯主之桔梗湯方桔梗一兩 甘草二兩

右二味以水三升煮取一升分温二服再

服則吐膿

肺癰ハ肺痿肺脹ノ両症ヲ合シテ痛ヲ帶ルナリ膿胸
膈ニタマルニヨリテ胸滿スルナリ始ハ氣ヲ閉テ脉沈遲トナル
ナリ此トキハ實シ内ニ膿ヲ催シ膿ヲ吐クニ後テ虚スルト數
ニテナリ唯クサクシテヨリツレヌモノナリ桔梗湯ハ腫膿
ヲ主トスモノナリ濁唾ハ容ナリ其起ル所ヲ考ルニ血ノ不
ヨリ生ス胸中痛ミ手足身休ノ動搖ニ痛ミアリ始メテ
イアリ熱ヲアラハササルニ脉數トナルリ皆血ノコリヨリ
起リテ膿トナルナリ氣セマリテ痛モノハ甘草ノ治ス所ニ
此ニ甘草ノ二兩ヲ用ルヲ見ルベシ氣セマリテ痛血ノコレモノ濁唾
吐膿スルニ至ルハ桔梗ノ治スル所ナリ由是知ルニ桔梗ハ血
ノコリヲユルモノナリナリ排膿湯ハ此ヨリ一等劇ニキニシテ
意味ナリコレヲ治スルニハ排膿湯ヲ桔梗湯ノ症ニ用攻ルニ

梅肉丸ヨリ生生乳可ナリ腫物ニ振寒アリ咽カラク
クトモ渴セサルモノハ排膿湯ニ宜シ桔梗湯ヨリマサレル
ナリ發背癰ニハ排膿湯ニ伯列散兼梅肉丸可ニ膈
ヨリ下ナルモノハ大黃牡丹皮湯ヲ用テ可ナリ此桔梗湯
ハ咽喉腫テ痛ミ江戸ニテ挾箱ト稱スモノヲ能ク治
スルナリ

○肺脹效而上氣煩躁而喘脉浮者心下

有水小青龍加石膏湯主之小青龍加

石膏湯方麻黃芍藥桂枝細辛

甘草 乾薑 各三兩 五味子 半笈 各半升

石膏 二兩 右九味以水一斗先煮麻黃

去上沫內諸菜煮取三升分溫三服

肺脹氣ノセマリノツギキナリ故ニ咳而上氣スルナリ喘
ハ專ラナラサルナリ氣水ヲ逐ヨリ濁唾涎沫ヲハカ
サルナリ喘ハ汗出ベキ水カ外ヨリ閉コシテイタスヨリ麻黃
杏仁ノ主ル所ナリ咳喘トモニ足ハ五味子半笈ノ主ル所
ナリ大青竜湯ハ表ヨリ閉ルカ主ナリ越婢ハ裏ヨリセマ
ルカ主ナリ小青竜湯ハ石膏湯ハ煩躁ヲ帶ルナリ越婢

湯ニナキナリ喘モ無汗而喘麻黃湯ノ麻黃杏仁ノ
コトナリ咳ハナシ咳喘ハ裏ニ水タレヨリ起ル五味子半
笈ノ主ル所ナリ表ヨリ来ルハ麻黃杏仁血氣セマツテ
スルモノハ葶藶大棗瀉肺湯ノ主ル所ニテ此ハ胸ニ
ナリ小青竜湯ニ咳多シ同シ咳ニテモ湿家ノモノハ桂
枝加朮附湯ニ宜シ

○千金生薑甘草湯治肺痿欬唾涎

沫不止咽燥而渴生薑 五兩 人參 三兩

甘草 四兩 大棗 十五枚 右四味以水七升

煮取三升分温三服

生姜其州湯ハ氣力暢ルナリ故ニ咳唾スルナリ氣力
セマルヨリ内ニタマツテアルモノ吐スルナリ乾姜甘草
湯ハ氣暢サルナリ涎沫ハ吐スレバ咳ハナキナリ下ニ
氣暢ラサレハ遺尿モアリ小便モ數ニナリ咳スルヤウニ
セマラサルヨリ不渴ナリ

○千金桂枝去芍藥加皂莢湯治肺

痿吐涎沫者桂枝 生姜 各三兩 甘草

二兩 大棗 十二枚 皂莢 二枚 右五味以

水七升微火煮取三升分温三服

此湯ハ上逆シテ胸滿ニ咳スルモノナレハ此湯ヲ用テ
可ナリ論中用ル所脈促胸滿ノ條ト參考スベシ

○外臺桔梗白散治欬而胸滿云々

桔梗 貝母 各三分 巴豆 一分去皮熬研如脂

右三味為散強人飲服半錢七羸者

減之病在膈上者吐膿血膈下者瀉出

若下多不止飲冷水一盃則定

肺癰ニ桔梗湯ハ常用桔梗白散ハ兼用スニ痰飲咽喉ニセマルモノハ桔梗白散ニ宜キナリ

○千金葦莖湯

先人ヨリイマタ試ミ用サルナリ故ニトラサルナリ

○肺癰胸滿脹一身面目浮腫鼻塞清涕出不聞香臭酸辛欬逆上氣喘鳴迫塞葶藶大棗瀉肺湯

主之

此證ノ如キハ劇證ナリ多ク治サヌモノナリ葶藶上ヘセリ故ニ喘アリ汗出ルナリ

奔豚氣病脉證第八

○奔豚氣上衝胸腹痛往來寒熱奔豚

湯主之奔豚湯方甘草 芎藭當

歸 各一兩 半夏 生姜 各四兩 黃芩

芍藥 各二兩 生葛 五兩 其李根白皮 一升

右九味以水二斗煮取五升溫服一升
日三夜一服

奔豚ト云モノハ臍下ヨリ動搖シテ上ル豚ノ奔ルカ如キニ
ヨリ上衝スルモノ形容シタルナリ賁豚湯ハイマタ試ミカキ
リ血ノ変ヲ帶ルモノニ用ヘシ凡臍中痛ト云モノハ水
氣ニカカリ腫痛ト云モノハ血分ニカカリ附子當飯ノ主
ル所ナリ此章ハ血分ニ氣セマリテ腹痛ス氣ノセマル
ニツイテ血モセマルナリ此方ハ血ニカカリテ腹痛アリ桂枝加

桂枝湯ハ氣ガナリ故ニ腹痛ナシ氣從少腹上衝心ト志
ト其位ヲ定ルヨリ加桂ニナスナリ苓朮甘草湯ハ水多リ
テ氣暢サルモノヲ治ス故ニ臍下悸スルナリ腹痛アリテ
往來寒熱スルモノハ血ノ變ナリ小柴胡湯ノ往來寒
熱ハ水氣ノ籠ヨリナス故ニ胸脹滿アリ或ハ嘔アリ此方ニ
ハナシ此ヲ以テ其異同ヲ辨別スベシ

○發汗後燒針令其汗鍼處被寒核
起而赤者必發奔豚氣從少腹上衝心
與桂枝加桂湯主之桂枝加桂湯方桂

枝 五兩 芍藥 三兩 甘草 二兩 生姜 三兩
大棗 十二枚 右五味以水七升 微火煮取
三升 去滓 溫服 一升

○發汗後 胸下悸者 欲作奔豚 茯苓 桂
枝 甘草 大棗 湯 主之 茯苓 桂枝 甘草
大棗 湯 方 茯苓 半升 甘草 二兩 大棗

十五枚 桂枝 四兩 右四味以甘爛水一斗
先煮茯苓 減二升 內諸藥 煮取三升
去滓 溫服 一升 日三服

胸痺 心痛 短氣 病脈 證治 芎九

○胸痺之病 喘息 欬唾 胸背痛 寸口脈

沈而遲 関上小緊 數括萋 薤白白酒湯

主之括萋 薤白白酒湯方 括萋實

一枚 薤白 半升 白酒 七升 石三味同

煮取二升 分温再服

結胸ト胸痺トノ別アリ 結胸ハ血気結実ニテメクル
トアリハサルモノナリ故ニ心下石ノ如クニ鞭ニテ喘息痰唾
ハナキナリ胸痺ハ痰飲メクニトスル気ヲ閉塞ス
ルト云ハ氏氣ハナホメクル意アリ故ニ心下石鞭ナラスニテ

喘息咳唾アルナリ 結胸ハ心下ニテ痛ム此ハ胸背痛ト
ノ差別アリ胸痺ハ喘息咳唾ノ症ナキトナク必アルナリ
蘭山古方某説曰方家謂酒為白酒猶水曰白水
湯曰白湯矣何可泥白字以費辨乎哉者釈未
汁也即酒之未熟者非以粟飯所造之漿水亦非米
飯所造之苦酒也今用之者當以薄酒代之

○胸痺不得卧心痛徹背者括萋薤

白半萋湯主之括萋薤白白半萋湯方

括萋實一枚 薤白 三兩 半萋 半升

白酒一斗 右四味同煮取四升 溫服一升
日三服

○胸痺心中痞留氣結在胸膈滿腹下逆
搶心枳實薤白桂枝湯主之 人蔘湯亦
主之 枳實薤白桂枝湯方 枳實 四枚

千金作三兩
厚朴 四兩

千金作一斤
薤白 半斤

桂枝 一兩 枳實 四枚

一枚 右五味以水七升 煮取二升半 分再服
枳實 厚朴

取二升 去滓 內諸藥 煮數沸 久溫三服

此湯ハ下ヨリサシコムモノニテ水ニ屬ス枳實ノ水ハ下ヨリセマ
ルモノナリ人蔘湯ハ血ニ屬ス但腹下ニ變ナク任脉通りニ
サシコムモノナリ此血下水トノ差別ナリ

人蔘湯方 人蔘 甘草 乾姜 白朮 各三兩

右四味以水八升 煮取三升 溫服一升 日三服

○胸痺胸中氣塞短氣茯苓杏仁甘草湯主之橘皮枳實生薑湯亦主之茯苓

杏仁甘草湯方茯苓 三兩 杏仁 五十個

其艸 一兩 右三味以水一斗煮取五升

溫服一升日三服橘皮枳實生薑湯

方橘皮 一斤 枳實 三兩 生薑 半斤 右三

味以水五升煮取二升分溫三服

茯苓杏仁甘草湯ハ水上ヨリ覆ニヨツテ唯短氣ノミナリ
他症ヲ兼ズルナシ橘皮枳實生薑湯ハ下ヨリ上ニ迫ル故
ニ噦逆等ノ症アリ短氣アル氏甚シクハナキナリ
氣胸ニ上衝シテ頭眩或目眩アリテ短氣スルモノナレハ
苓朮朮甘草湯ノ方所ナリ又少腹拘急シテ小便不利ニ
短氣スルモノハ八味丸ノ主ル所ナリ

○胸痺緩急者薏苡附子散主之薏苡

苡附子散方薏苡仁 十五箇 大附子

十枚 右二味杵為散服方寸七日三服

世ニ所謂喘息ノモノニ此方ヲ用テ効アリ葦苈仁ハ血氣ノ肌層ヘメクヲサルモノヲ治スルノ能アリ葦苈仁ハ細長ク數珠五ハ凡キモノナリ

○心中痞諸逆懸痛桂枝生薑枳實

湯主之桂枝生薑枳實湯方桂枝生

姜 各三兩

枳實五枚

右三味以水六升

煮取三升分溫三服

此湯ハ水ヲ開テ痛モノヲ治スルナリヨク腹中雷鳴シテ上逆シ吐出水ノモノニ甚ク効足モノナリ

○心痛徹背背痛徹心烏頭赤石脂丸主之

此症ニ紫圓ヲ用或備急丸ヲ用テヨク治スルモノナリ

○九痛丸治九種心痛

此ノ代方ニモ紫圓備急丸ニテ能ク應スルモノナリ

腹滿寒疝宿食病脉證治第十

腹滿スルモノ大満シテ雷鳴大便閉シアラハスナリ中寒
スルモノハ腹滿シテ雷鳴スルナリ上ヨリ氣ヲ閉ルモノハ水
實セサルアリ寒疝ハ登スルトキハ雷鳴シ登セサルキハ雷
鳴セサルナリ又宿食ニハ始終雷鳴ハナキモノナリ

○病腹滿發熱十日脉浮而數飲食

如故厚朴七物湯主之厚朴七物湯方

厚朴半斤 甘草 三兩 大黃 二兩 大棗

十枚 枳實 五枚 桂枝 二兩 生姜 五兩

右七味以水一斗煮取四升溫服八合

日三服

腹滿スルヨリ發熱ヤミ日ヲ經テ潮熱トナルモノハ調
胃承氣湯ニ宜シ此方ハ桂枝去芍藥湯ト厚朴三
物湯ト合方ナリ腹滿ト發熱同時ニアラハルモノナリ
枳實厚朴ノ行ク所ハ氣ニヨリテ水セリテハ是故ニ血
色常ノ如クニシテ痛モノニテハ已テ按セトモ指ヲ没ス
ハナキモノナリ腸胃皮膚層ノ間ニ水アリテ滿スルモノハ防已茯苓

苓湯ノ少ク所ニシテ指ラ波スルモノナリ此ハ氣フメクリニ
ヨリテ水タマルナリ又鼓脹ニテ緊満ニテ血色ヲ失シ皮
膚ニシラケテ青筋アルモノハ大黃牡丹皮湯ニ宜シトカ
ク小水快通ニテヨリ大便下リテモヒケカタク上カハリ
腹中雷鳴アルハ附子劑ノ少ク所ナリ下劑ヲ以テ治スヘ
カクナルモノナリ

○痛而閉者厚朴三物湯主之厚朴三物

湯方厚朴八兩 大黃 四兩 枳實 五枚

右三味以水一斗二升先煮二味取五升

内大黃煮取三升溫服一升以利為度

此湯ハ大承氣湯ノ芒消ヲサレモノナリ此ハ熱實ニテ
氣ヲ閉ルモノニ用此ハ腹満主ニ立ナリ痛而閉トアレ
凡腹満ハ必アルナリナキハナキナリ

○按之心下滿痛者此為實也當下之宜

大柴胡湯大柴胡湯方柴胡 半斤

黃芩 三兩 芍藥 三兩 半夏 半升 枳實

四枚 大黃 二兩 大棗 十二枚 生薑 五兩

右八味以水一斗二升煮取六升去

滓再煎取三升溫服一升日三服

大柴胡湯ハ心下ノハリツヨク閉ルカ至トナリ此枳實ノ
ツク所ナリ此ヨリ心下ニカキルナリ承氣ノツク所ハ腹
滿痛スナリ其遂ノ行ク処ハ滿痛ニアラス鞭痛トナ
ル必疼痛トナリ心下カ脇下カ少腹鞭ニテ痛而滿ス
ル鞭滿ヲ治スルナリ小柴胡湯ハ兩脇下ニアリシヨリ
一等深ク裏ニ入ルモノハ心下ニ及トモ先服下ナリ水ハ

服下ニ有テタルモノナリ大黃附子湯ナトノ脇下偏痛
スルナト考ベシ兩脇下ハ多ク少柴胡ノ主ル所ナリ當飯ナト
ノツク所ハスナリアリテ痛モナリ○心下痛按之
石鞭脈沈緊者為熱實大陷胸湯主之按之心下滿
痛者為丹實大柴胡湯主之此ハ白氏ノ辨別ナリ

○腹滿不減減不足言當須下之宜大

承氣湯大承氣湯方大黃 四兩 厚朴

半斤 枳實 五枚 芒消 三合 石四味以水

一斗先煮二物取五升去滓内大黄
煮取二升内芒消更上火微煮一
二沸分温再服

腹滿ハ厚朴三物湯調胃承氣湯主ナリ大承氣
湯主ニアラス氣ノセマリカ主ニ在ナリ腹滿ニテ水声
ナクハリタリヒケタリスルナシ故ニ腹滿不減減不足
言トハ云タルナリ

○腹中寒氣雷鳴切痛胸腹逆滿嘔

吐附子粳米湯主之附子粳米湯方附子

一枚 半夏 半升 甘草 二兩 大棗 一枚

粳米 半升 右五味以水八升煮米熟

成湯去滓温服一升日三服

胸腹ニカルモノハ水氣ナリ此湯ハ氣逆スルモノ故ニ雷
鳴アリ手足冷ルナリコレハ腹中ニ寒氣アルナリ氣
不暢モノ故ニ結スルナク痞鞭十トハナキナリ

○腹中寒氣上衝皮起如有頭足上下

痛而不可觸近吧不能食大建中湯

主之大建中湯方蜀椒 二合 乾姜 四兩

人蔘 二兩

右三味以水四升煮取二升

去滓 內膠

千金作飴糖

飴 一升 微火煎取一升

半合 溫再服

千金作三服

本草 人參ノ條 大建中湯ノ主治ヲ載テ了リ
参考スヘシ上衝皮起ハ外ハ出見スレナリ血分ナルカ故ニ雷
鳴ナリ唯上衝ニテ氣力上ハサレコトナリ附子粳米湯亦
氣ノメクリアヒキ故ニ雷鳴スルナリ胸膈滿ト云ハ水氣
ノ微ナリ茯苓澤瀉湯大建中湯トハ異同ノ同サレ
氏彼ハ渴アリテ腹中寒スルハナシ痰飲アリテ痛モハ
偏痛スルナリ小建中湯ハ上衝ニテ痛大建中湯ハ上衝
ナクニテ痛ナリ

○腸下偏痛發熱其脉緊弦此寒也以

溫藥下之宜大黃附子湯大黃附子

湯方 大黃 三兩 附子 三枚 細辛 二兩 右三

味以水五升 煮取二升半 分溫再服

千金作三服

此湯ハ氣メクシテ水溜滯スルモノナリ 附子粳米湯
ハ血氣メクシテサレテ主トス 故生姜ナク加附子大承氣湯ハ
雷鳴ナクシテ凝リ痛ナリ 此ハ表ヨリ閉コムモノヨリ異
ナリ 表ヨリ閉コムモノハ兩胛下痛ナリ 脉或緊或弦ニ作ルカ

○寒氣厥逆赤丸主之

厥逆ノミヲ以テ方ヲ處シカタシコレヨリ先人ヨリトラサ
ルナリ

○寒疝遠臍痛若發則自汗出手足厥

冷其脉沈弦者大烏頭煎主之 烏頭煎

方烏頭 千金作十五枚 大者五枚 右以水三升 煮取一升

去滓 內蜜二升 煎令水氣盡 取二升

此湯汗出ハ發熱ナク發熱アルハ汗ハナキナリ 痛アリテ
後發熱スナリ 其症水氣ニカリ臍ヲメクリテ痛ニ外
ヨリナスモノナリ 又燥屎アリテ遠臍痛モノハ按之手ニ應
ズルモノアリ 此ハ血氣セマルヨリ自汗出外へセズヨリ厥

冷スルナリ烏頭煎ヲ用ルノ脈初ハ沈トナリ後セザルトキハ弦トナルナリ此ノ痛ハスチバリナシ羊肉湯ハスチバリアリ

○寒疝腹中痛及股痛裏急者當飯生

薑羊肉湯主之

羊肉得カキニヨリ先人コレヲ試サ
ルヨリ用サルナリ

千金名當飯湯芍薬作當飯二兩當飯建中湯ト似ル
モノナリ腰（ヒツハリ）サシコミ足モノハ當飯建中湯ナリ

○寒疝腹中痛逆冷手足不仁若身疼
痛灸刺諸藥不能治抵當烏頭桂枝湯

主之烏頭桂枝湯方烏頭右一味以蜜

二斤煎減半去滓以桂枝湯五合解

之得一升初服二合不知即服三合又

不知復加至五合其知者如醉狀得吐者

為中病桂枝湯方桂枝三兩芍薬三兩

甘草二兩 生姜三兩 大枣十二枚 右五

味剉以水七升 微火煮取三升去滓

烏頭桂枝湯モ身疼痛シ麻黄湯モ身疼痛ス麻黄湯ハ始ヨリアリ此ハセマツテ後アリ此其別ナリ
烏頭煎ハ血ノセマリナシ烏頭桂枝湯ハ血ノセマリツヨク疼痛リ桂枝湯ノ餘疾ハ烏頭ノ主治スル所ナリ

○外臺烏頭湯 治寒疝腹中絞痛賊風

入攻五臟 拘急不得轉側 發作有時
使人陰縮手足厥逆

此湯ハ外ヨリ閉ル良アリサルニヨリ 拘急アリ足ノウラスナニヒツバルモノナリ 脚氣ニヨキナリ 疝氣ニテ臍傍ニ水塊アリモノハ平水丸 兼用スベシ 陰囊ヲ大ニ捫ムトキハ又臍傍ハ水塊ヲ生スルモノハ桂枝加苓朮附湯ヲ用テ可ナリ

○外臺柴胡桂枝湯 治心腹中卒中痛

者柴胡 四兩 黄芩 人蔘 芍藥 桂枝 生薑 各二兩半 甘草 一兩 半夏 二合半

大棗 六枚 右九味以水六升煮取三升溫

服一升日三服

紫胡桂枝湯ハ心下（サシコミ）痛氏滿痛ナシ輕キハ發熱
惡寒シ身体カタルクイタムナリ大紫胡湯ハ心下鞅滿
シテ痛ナリ卒中痛ノ中ノ字剛ルニ卒中痛ト云
アタラサレナリ

○外臺走馬湯治中惡心痛腹脹大便

不通 巴豆 二枚 杏仁 二枚 右二味以綿

纏槌令碎熱湯二合捻取白汁飲之

當下老小量之通治飛尸鬼擊病

水氣ノカタカラ関テ心（サシコムモノニヨキナリ）小兒ノ馬脾風
ナトニテ喘氣ツヨキモノニヨシ痛風ナトニ應ズナリ鬼擊
病ト云ハ鬼神ノ搏撃スルカ如クイタム故ニ此湯ヲ以テ疏
通ニテ愈ルナリ紫田モヨク痛風ノ痛ヲ治スモノナリ
巴豆ハ水氣ニテ脹ルモノヲ治ス腹ヨリ水心ニセマルモノ
ヲ治ス世ニ所謂馬脾風ノモノニヨク應ス此方ハ卒暴ニ
腹滿而喘大小便氏ニ関ルモノヲ治ス倍傳ニ云馬脾
風ノ甚キモノ自汗出ルモノナリ
先生曰飛尸鬼擊言疼痛飛轉身体其形如被
鬼神擊于世所謂痛風者主之

○下利不欲食脉數而滑者實也此有

宿食也須下之宜大承氣湯

原本脉數而滑者實也此有宿食下之愈宜大承氣湯
下利不欲食者有宿食也當下之宜大承氣湯トアリ按スルニ
此二章ハ本是一章 誤テ二章トスルモノナリ傷寒論曰
陽明与少陽合病必下利脉數而滑者有宿食也當下
之宜大承氣湯ノ章ト類徴スヘキナリ

宿食ハ臍ノ上ニアリ 疝氣ハ臍ノ下ニアリ 腹ニ停滯アルト
キハ痛ナリ胸中ニアルトキハ始終カキアリ宿食ノアル処ニキマレキ
痛アルナリ 疝ニモカレヨリ輕ニ腹痛シテ不欲食ナリ

下ニアルトキハ大承氣ナリ上ニアルトキハ瓜蒂散吐下シテモ
愈サルモノハ橘皮大黃朴硝湯先人ハ紫円ヲ用レリ
宿食腹中痛欲食則嘔者大承氣湯兼用紫円宿
食ニ始終雷鳴ハナキモノナリ

霍乱ハ腹痛シテ唯吐利脉微ニナリ 剝ニキトキハ手足厥
冷吐食スルナリ 兩便秘閉スルモノハ大柴胡湯ニ宜シ

○宿食在上脘當吐之宜瓜蒂散瓜蒂散

方 瓜蒂 一分

赤小豆 一分

右二味杵為

散以香豉七合煮取汁和散一錢匕溫

服之不吐者少加以快吐為度而止
脉緊如轉索無常者有宿食也○脉緊
頭痛風寒腹中有宿食不化也

五臟風寒積聚病脉證第十一

積ハ血分ニカリ聚ハ水穀ノ變ナリ世所謂積氣凝
リ足モノ當飯為菜散ニ宜シ上ヨリスルモノハ半隻瀉心
湯其外當飯建中湯小柴胡ナト証從テ可用ナリ
○五臟ヲ談スルモノ先人ヨリトラサレ所今辨セサレリ

○趺陽脉浮而瀦浮則胃氣強瀦則小便
數浮瀦相搏大便則堅其脾為約麻
子仁丸主之麻子仁丸方麻子仁二升

芍藥 半斤 枳實 一斤 大黃 一斤

厚朴 一尺 杏仁 一升 右六味末之煉蜜和

丸梧子大飲服十丸日三以知為度

麻子仁丸ハ外ヨリカラミツクモノナリ内ニ熱ナク氣盛ナ
ルナリ故小便數ナリ小承氣湯ハ熱ヲ帶ル故ニ謔語
シテ口乾燥スルナリ○麻子仁丸此方小便數ニヨツテ
大便難モノ主之小承氣湯ト異ナルモノハ小便數ノ症
アリト云ハ凡熱實ニヨツテ鞭ニヨリ謔語等ノ症アリ今老人
氣盛ニシテ熱勢ナク小便數ニ内物キテ大便鞭モノ

此方ニ宜シ

○腎著之病其人身體重腰中冷如坐水

中形如水狀反不渴小便自利飲食如

故病属下焦身勞汗出衣裏冷濕久

久得之腰以下冷痛腰重如帶五千錢其

薑苓朮湯主之其草乾姜茯苓白朮

湯方 其州 白朮 各二兩 乾薑

茯苓 各四兩

右四味以水五升煮取三升

分溫三服腰中即溫

苓桂朮甘湯ハ水溜リタルニヨリテ氣メクラスシテ逆スルナリ
故起則頭眩身為振々揺又心下逆滿トテ水溜リアツ
テ動スル氣アルナリ此湯ハ氣ノメクリアヒキヨリ水タマル
故ニ水タマルナリ此ニヨリテ氣カ主トナリテ水ハ容ナリ腰中
ノ中不可ニ属ス冷ルモノハ氣メクササナリ又身体重ナトモ
氣メクラス水溜ルモノナリ凡水ハ下降スルモノナリ故水防
已湯ノ水ハ氣ノメクササナリ起ル症ナリ内ヨリ外へ循之
トスレハ循之ナリアタハハル故ニ足胛ヨリ腫ルナリ此水モ其

理同シク腰以下ニ氣不循シテ滯ルヨリ冷痛シタリ腰重スナ
リ是上へ登達スルナキ故ナリ氣外へメクダシテ水滯ル故ニ湯
ナキナリ内ヨリ起ル病症ナク不渴ナリ苓桂朮甘湯ハ水溜テ
氣ヲ閉ル故ニ氣進ミ上ラトシテ逆スナリ是ニヨリ外へメクルヘ
キ氣水ニ支ヘラルヨリ胸膈支滿シタリ或眩スナリ眩ト目
瞑トナトナリ目瞑ハ麻黄湯ノ症ニシテ血分ノセマリニ属シテ
甚ニキニ至レハ衄血スルナリ此水ト血トノ異ナレ所ナリト
知ルヘキナリ

痰飲欬嗽病脉證並治第十二

○問曰夫飲有四何謂也師曰有痰飲有

懸飲有溢飲有支飲問曰四飲何以為
異師曰其人素盛今瘦水走腸間漑漑
有声謂之痰飲飲後水流在脘下欬唾引
痛謂之懸飲飲水流行四肢當汗出而不
汗出身體疼重謂之溢飲欬逆倚息短
氣不得卧其形如腫謂之支飲

○心下有痰飲胸脘支滿目眩苓桂朮苴

湯主之苓桂朮苴湯方茯苓四兩桂

枝白朮 各三兩

甘草 二兩

右四味以水六

升煮取三升分溫三服小便則利

心下ニ水飲タリ唯短氣ハカリナレバ茯苓杏仁甘草湯
ナリ苓朮朮苴湯ハ前ニモ辨ズカ如ク氣ノセマリカ主ニナル
ヨリ胸脘支滿ノ症ヲナシタリ或目眩ナリコレタル水
ク氣セヨリテ逆セニ合ヨリ然ルナリ

○夫短氣有微飲當從小便去之苓桂朮
其湯主之腎氣丸亦主之

短氣ハ水心下ニ多ク流ナリ心下ニ水ハ苓桂朮其湯臍下ニ水ハ
腎氣丸ト水ニ上下ノタカヒアルヲ示セシナリ

○病者脈伏其人欲自利利反快雖利心下
續堅滿此為留飲欲去故也甘遂半復湯
主之甘遂半復湯方甘遂 大者三枚 半復

十二枚 芍藥 五枚 甘艸 一枚 右四味以水

二升煮取半升去滓以蜜半升 和菜汁
煎合八合頓服之

其遂半復湯ノ欲自利利反快ト越婢湯ノ汗出テモ腫ル
トナリ其遂ハ水ニテ血分ヲ開キルモノヲ治スルナリ 枳實水
ハ彼ヨリ上カハノモノニテ動ク負アリト寒湯ハスヘテセズナリ

○病懸飲者十棗湯主之十棗湯方芫

花 甘遂 大戟 各等分

右三味搗篩以水

一升五合先煮肥大棗十枚取九合去滓內藥末強人服一麥七贏人服半錢平且溫服之不下者明日更加半錢得快利後糜粥自養

○病溢飲者當袞其汗大青龍湯主之小

青龍湯亦主之大青龍湯方 麻黃 六兩

桂枝 二兩 甘草 二兩 杏仁 四十個 生姜 三兩

大棗 十二枚 石膏 如雞子大 右七味以水

九升先煮麻黃減二升去上沫內諸

藥煮取三升去滓溫服一升取微似

汗汗多者溫粉粉之

溢飲ニシテ身疼已ハ身重キトシ外ヨリ開ルモノハ疼重

ノ並出ルモノナシ一物瓜蒂散桂枝加黄芩湯ニモ身疼重
ノ症アリ皆内ヨリ外ヘセズモノナリ

○膈間支飲其人心下痞堅面色黎黑其
脉沈緊得之數十日医吐下之不愈木防已
湯主之虚者即愈实者三日復發復與不
愈者宜木防已去石膏加茯苓芒硝
湯主之木防已湯方 木防已三兩 石膏

十一枚 桂枝三兩 人参四兩 右四味以水六升
雞子大

煮取二升分温再服木防已加茯苓芒
消湯方 木防已 桂枝 各二兩 芒消 各

人参 茯苓 各四兩 右五味以水六升煮取

二升去滓内芒消再微煎分温再服微利
則愈

此湯ハ氣ノ多クリアシク水溜ルモノナリ 木防己ノ治ハ所ノ喘
ハ石膏ノ主治スル所ナリ 心下痞堅ノ堅字 鞭ノ字ナルヲ金匱要
略ハ皆堅ニツクハ避ル 所アツテ然ルカ 或云堅ハ吳ノ孫堅ノ諱長
沙ハ三國ノトキ 吳ニ属ス故ニサケテ堅ヲ 鞭ニ作リテ 傷寒論
公行セシモノト覺エト是ナルニ似タリ 此湯喘ハ六渴ナシ石
膏ノ主治ナリ 痞鞭ハ人參ノ治スル所ナリ 痞堅ハ血ヨリテ氣
ヲ滯ラスモノナリ 氣メクラサルヨリ 水溜ルナリ 故ニ下部ニ腫ラ
ラハシ足ノ甲ヨリ浮腫スルモノニ効アリ 石膏ハ熱伏シテ氣
メクラサルモノヲ治ス故ニ厥冷惡寒ノ症アリ 芒硝ハ内ヨリ外
ヘセシモノヲ治ス故ニ日晡所發潮熱ナトノ症ヲアラハシ又手足
臑然トシテ汗出ル等ヲアラハスモノモ皆内ヨリ外ヘセシモノ
ナリ ○虚者トハ隆ヲサスナリ 心下ノ痞鞭ヤハラクモノハ治

ス虚濡ニナラス 堅スル故ニ加茯苓芒硝ヲ以テ治スルナリ 堅ハ
鞭ヨリ一等ノ劇症ナリ 血ユルモノハ木防己湯ニテ愈ルナリ
石膏ハ虚状ヲ熱伏シテ氣循ラサル故ニ厥冷惡寒遺尿
アリ 譫語心煩ハ熱伏シテ心ヘセシム故ナリ 今心下堅ハ虚状
ニアラス 実症ナリ 故ニ加茯苓芒硝湯ヲ用ルナリ 脚氣ノ症
ニ喘滿而心下痞鞭ニ脚腫スルモノハ木防己加茯苓湯ヲ
用テ効アリ ○心下ニ水タマリ足ノ胛腫多キモノニ効アリ
○村井大年云石膏十二枚 外臺秘要作雞子大三枚則
十二之二疑是 三字ノアヤマリカ

○心下有支飲其人苦冒眩澤瀉湯主之

澤瀉湯方 澤瀉 五兩 朮 二兩 石 二味以

水二升煮取一升分温再服

此章ハ水気滞テ血セリ故堅ナシ血ヲサルナリ沢瀉ハ
血ノセリモノヲ治ス澤瀉ハモト血セマツテ水ヲ逐フモノヲ治
スナリ是故ニ渴ヲ治スルト云ハ輕症ナリ劇症ニ至ルハ血気上ヘ
セマリテ冒眩スルナリ此ハ是水ノ滞ニツイテ氣セマレナリ
冒ハ水気冒ナリ朮主之眩者血気迫于上也沢瀉主之ナリ
冒眩スレバ渴セサルモノハ水多ナリ此湯ハ五苓散ヨリ水ノ
タマリ多キヲ可考ナリ

○支飲胸滿者厚朴大黃湯主之厚朴大

黃湯方 厚朴 一尺 大黃 六兩 枳實 四枚

右三味以水五升煮取二升分温再服

此湯ハ小承氣湯 厚朴三物湯ト某同シク分量異ナルニ
ヨリ主治異ナルナリ小承氣湯ハ大黃君棗ニシテ熱實
ヲ治ス三物湯ハ厚朴君棗ニシテ腹滿ヲ治ス此湯ハ枳實
主シテ支飲ヲ治ス此ハ腹ノ水気ヲ心胸中ヘセマラスナリ
此カ枳實厚朴ノ主治スル所ナリ世俗ノ所謂反胃ト云
モノニ効アリ○凡胸滿ヲ治スルニ二途アリ支飲胸滿不

得息者厚朴大黄湯 痙病胸滿口噤臥不著席者大
承氣湯効アリヨク其疑途ヲ別チ治ヲ示ス

○支飲不得息 葶藶大棗瀉肺湯主之

此湯ニ喘鳴迫塞ノ症ヲ脱スルト覺エタリ此効逆上氣ニテ
右ノ症ヲアラハスナリ氣ノセマリ主ナルモノナリ大棗ハ血氣ノ
セマルモノヲ治ス十串湯ヲ以テセマルノ義ヲ知ルベシ此胸間
ノ水テ氣セマリテ効逆上氣喘鳴迫塞不得息又不得臥
也故喘鳴迫塞ニ至レハ必汗出ルナリ唯短氣ニテ不得
息モノハ茯苓杏仁甘草湯主之ナリ喘短氣ト別知レ
○嘔家本渴渴者為欲解今反不渴心下

有支飲故也小半夏湯主之小半夏湯方半

隻一升 生薑 半升 右二味以水七升煮

取一升半分溫再服

嘔家本渴不ノ義ハ嘔ニテ水渴ルカ故ナリ渴不モノハ水半
テ病解スナリ然ルヲ渴セサルヨツテ反ト云ナリ此心下ニ水
アルノ症ナリ半夏生姜ヲ以テ其水飲ヲ逐ヒテ氣ヲメクラ
スナリ生姜嘔ニ水飲ノ帶テ逆スナリ乾姜ハ唯氣逆ノニ
テ嘔スルト知ルベシ氣逆ヲ治スルニ其意味格別ナリ考テ知
ルベシ甘草ハ氣逆ニテ劇ニキハ心下セマリ附子ト合スルハ厥冷ヲナス
モノナリ

○腹満口舌乾燥此腸間有水氣已椒薤

黄丸主之已椒薤黄丸方 防已 椒目

葶藶 大黄 各二兩 右四味末之蜜丸

如梧子大先食飲服一丸日三服

此章 腹満スルモノハ水滯ニヨルナリ水滯ニヨツテ血氣ク
ラナルモノナリ故口舌乾燥スルナリ凡腹満ニ其別ニアリ
一ハ肌層ノ間ニ水滯リ腹満スルモノハ腹一面ニ満ニ按
之トキハ凹ニナリ暫ク復セサルモノナリ此氣メクラサルヨリ

水滯ヲ生ズルモノナリ二ハ裏ニ水滯ニテ腹満スルモノハ腹
一面ニ満セズ然レモ按之トキハ凹氏忽忽トシテ復スルナリ此ハ
水滯ニテ氣ヲ閉テセサルモノナリ三ハ腸間ニ水滯テ腹
満スルモノハ必形ニアラハルナリ四ハ腸間ニタタル水ハ葶藶ノ
治ス所ナリ 甜葶藶ヨリ 苦葶藶ノ方ヨク効アリ然レ
モ得カクニ関東ニテ軍配團扇ト唱ルノ實ヲ用フ

○卒嘔吐心下痞膈間有水眩悸者 半复加

茯苓湯主之小半复加茯苓湯方半

复一升 生姜 半斤 茯苓 三兩 一云四兩

右三味水七升 煮取一升五合 分温再服

此嘔吐劇症十六水ナキナリ然レニ眩悸スルモノハ茯苓ノ主治ナリ半復ハ水心下ニ溜ルヲ氣逆ニテ吧スル故吐ナク嘔アリ劇症ニイ名ハ吐アリ茯苓ハ其水ハ氣道ニカリ血令ニ及ナリ故短氣眩悸ヲ治ス劇症ニ至テハ筋惕ヲナス肉瞤ハ悸ノ類ナリ表ナリ筋惕ハ裏ニイリ劇症ナリ南涯ノ曰茯苓ハ水ノ血中ニアルモノナリ故心悸怔忡ノホヲ得レハ氣メクラス水タズルモノヲ治スホハ氣ヲメクラスモノナリ故水状ヲアスニテ心下滿ト云小便利不利ヲナリ

○假令瘦人臍下有悸吐涎沫而癩眩

此水也五苓散主之五苓散方澤瀉 一兩

猪苓 三分 茯苓 三分 朮 三分 桂 二分

右五味為末白飲服方寸匕 日三服

瘦人肥人ノ説ハ東洞先生ノ取ラサレ所ナリ然レ南涯先生ノ白肥人ハ手ニ應セザレナリ故瘦人ト書シモノナリ吐涎沫ハ胸中ニ在ル水ナリ血氣セマツテ心胸中ノ水ヲ動スルナリ他ノ症ナク唯臍下悸スルモノハ苓圭甘草湯ノ主治スレ所ナリ今吐涎沫ヲ以テ癩眩ノ症トス此方沢瀉ヲ君トス沢瀉ハ血氣急ルモノヲ治ス若水ヲ帶テ眩ス

血氣セリウヨク水ヲ逐トキハ汗出而渴ス沃瀉ハ外ノ水ヲ外
一逐モノヲ治ス故ニ茯苓沃瀉湯ナトニ三日モ飲シ水ヲ
一度ニ吐スナリ反胃ニ用テ効アリ其腹ハ多ク腸胃ノ形ニ
凸クナリ筋ハルモノナリ世俗ニ此病多ク医名モノ意ヲ辨

○附方外臺茯苓飲治心胸中有停痰

宿水自吐出水後心胸間虛氣滿不能

食消痰氣令能食茯苓 人參

白朮 各三兩

枳實 二兩

橘皮

二兩半

生姜

四兩

右六味水六升煮取一升

八合分溫三服

此湯ハ氣循ラスシテ水心下ニ溜ルナリ腹ノ水ヲ上ヘセラ
スハ枳實ノ主治スル所ナリ此氣メクラス心下ニ滿ス水ヲ枳
實ノセガルニテ吐水スルナリ又生姜ノ行處ハ氣逆ニ
水飲ヲ帶ルナリ向レ嘔ハ氣ノセマリ乾姜ノ主治ハ氣ノ
逆ノミナリ茯苓沃瀉湯ハ渴アリ其毒腹部ニアリ此湯ハ
胸中心下ニ足故ニ渴ナシ心胸中イタムモノアルナリ
茯苓澤瀉湯ハ腹ヘ下リスガハリアリ腸胃ノナリニ高
クナルナリ茯苓飲ハ心下ヨリ胸中ニカリ痛レ且渴ハテ

キナリ

○欬家其脉弦為有水十枣湯主之

十枣湯ノ水ハ内ヨリセズナリ心胸中ニ有ル水ヲセリテ
動スルナリ水氣ヲ閉ルニヨリ血氣共ニセズ故ニ大棗ヲ主
トス血氣セズモノハ其脉弦ナリ水ヲ動スル故ニ欬煩
胸中痛ト云血セズ故ニ痞鞭而滿ト云ナリ血氣ノセマリツ
ヨキヨリ汗出ルナリ溢飲ナト云ハ汗ナキナリ此ハ外襲ナリ
ナリ是故ニ發汗スルニ愈此湯ハ胸中ノ水ヲ逐ヒ血氣ノ
逆スルヲ治セサレハ愈ナルナリ○十枣湯ハ水タマリ氣伸
ハルモノナリ脉弦ナレハ血氣外ニセズナリ煩セストモ胸中痛
モノ此方主之○煩ハ氣行ニトスレハ行クナリアタハサルヨリ
上ヘセマリテスルモノナリ

○夫有支飲家欬煩胸中痛者不卒死

至一百日或一歲宜十棗湯

欬逆倚息不得卧小青竜湯主之

小青竜湯ノ欬逆ハ表ニ痰水アリ外襲シテ内ニ閉コミ
セズ負ナリ内ヨリハ又氣外發セントシテ欬逆スナリ其汗ヲ
發スレハ愈ルナリ倚息ハカタイキナリツク息ハナリテ引ク
息ハナラヌナリ氣逆シテテキルモアリ表ヨリ内ニ逆スルナリ
十枣湯ハ内ニ水タマリテ血氣外行セント云ヨリテキル咳
ナク内ヨリセマリツヨキ故ニ肩背強リ頭痛有汗ナリ

短氣トハモト息シテセハシキヲ云ナリ此ハ外ヨリ逆スルモノ故ニ
無汗シテ惡寒スナリ○半夏五味子ハ咳喘ヲ治ス杏仁
ハ表ヨリ逆スル喘ヲ治ス表ヨリスルモノハ身疼痛アリ咳ハ
氣主ナリ喘ハ水主ニナルナリ

○青竜湯下已多唾口燥寸脉沈尺脉微

手足厥逆氣從小腹上衝胸咽手足

痺其面翕然如醉狀因復下流陰股

小便難時復冒者與茯苓桂枝五

味甘艸湯治其氣衝桂苓五味甘草

湯方茯苓四兩桂枝四兩甘草三兩

五味子半斤右四味以水八升煮取三

升去滓分溫三服

氣ノセマリツヨキヨリ多唾口燥ナリ厥逆ハ氣逆ノ劇ナリ
此湯ハ水トモセズ故ニ小便難ノ症アリ氣ノ上衝ツヨク
水トモセマリテ冒スルナリ此ハ五味子ノ主治スル所ナリ冒スル
モノハ氣心ニセズナリドウカ頭ヲツミタス意ニナルモノナリ

冒シテ眩スルモノハ沢瀉ノ治ス所ナリ

○手足厥逆ハ逆氣在故ニ上衝スルナリモト行クキモノカ氣ヲ閉テ行レヌカラセムル意アリ乾姜附子ノ厥逆ハ氣ノ脱スルナリ此ハ氣閉ラレテ暢ラレヌカラ上衝スルナリ

厥ハ氣逆スルナリ痺ハ血滯テ氣暢ルナラヌカラ痺在ク小便(通ス)キモノカ通セヌモノハ茯苓ノ主治ス所ナリ

冒シテ眩セサルモノハ五味子ノ主治ナリ下ノ水ヲ上ヘモツテ上ルモノハ五味子ノ主治ス所ナリ故小便不利ヲ云

苓桂甘草湯ハ臍下悸ナリ此湯ハ下ヨリ上ヘ衝クモノナリ

○衝氣即低而反更欬胸滿者用桂苓五味甘草湯去桂加乾姜細辛以治其

味甘草湯去桂加乾姜細辛以治其

欬滿苓桂五味姜辛湯方茯苓四兩

甘草乾薑 細辛 各三兩 五味半升

右五味以水八升煮取三升去滓

溫服半升日三服

欬胸滿ノ水ハ干姜細辛ノ所主治ナリ細辛干姜欬胸滿ノ氣ヲ逐フモノナリ

○欬滿即止而更復渴衝氣復發者以細
辛乾姜為熱藥也服之當遂渴而渴反
止者為支飲也支飲者法當冒冒者必
嘔嘔者復內半夏以去其水桂苓味
苒去桂加姜辛芩湯方茯苓四兩
甘草 細辛 乾姜 各二兩 五味

半夏

各半升

右六味以水八升煮取三

升去滓溫服半升日三服

○水去嘔止其人形腫者加杏仁主之其
證應內麻黃以其人遂痺故不內之
若逆而內之者必厥所以然者以其人
血虛麻黃發其陽故也茯苓甘草

味辛 芩仁湯方 茯苓 四兩 甘草 三兩

五味 半升 乾薑 三兩 細辛 三兩 半復升

杏仁 半升 右七味以水一斗 煮取三升

去滓 溫服 半升 日三服

杏仁ノ形腫モノハ面ヨリウタルナリ 麻黄ノ水ハ面目ヨリ起リ防己ハ腰以下ニ起ルナリ 杏仁ハ外ニ進ムヘキモノカ進マレカルモノヲ治ス 腫ニナラヌモノハ喘ニモナラヌナリ

若面熱如醉 此為胃熱上衝 薑其面加

大黃以利之 茯苓 甘草 三兩 五味 半升 乾薑 三兩

茯苓 四兩 甘草 三兩 五味 半升 乾薑 三兩

細辛 三兩 半復升 杏仁 半升 大黃 三兩

右八味以水一斗 煮取三升 去滓 溫服

半升 日三服

先渴後嘔為水滯心下此屬飲家少半
夏加茯苓湯主之

173
4672
9

